

木造地藏菩薩坐像 1 軀(全興寺)

木造地藏菩薩坐像

もくぞうじぞうぼさつざぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品[彫刻]

所有者

宗教法人 全興寺(せんこうじ)

所在地

大阪市平野区平野本町 4

紹介

法量：像高 40.8cm



全興寺本堂の内陣向かって右側に安置される。右手に錫杖、左手で宝珠をとり結跏趺坐する坐像である。頭体は三道下で接合し、頭部は前後 2 材からなる。玉眼像である。体部は前後に材を寄せ、両肩先と膝前に材を補う。現状では古色を呈する。やや目尻が切れ上がる意志的な表情を示し、腹前から膝下にかけての幾重にも連なる、流麗で動きのある衣文が特徴である。製作年代は鎌倉時代、13 世紀後半と考えられる。